

すくすく通信

2022年11月号
子育て世代包括支援センター
子育て支援室



朝晩の寒暖差がはっきりし、木々の色づきも鮮やかな季節になりました。寒さが厳しくなる前に、自然と触れ合う時間を楽しみ、季節の変化を楽しみたいですね。今月は、「褒める」がテーマです。毎日の忙しい生活の中で、お子さんの褒め方について振り返ることは難しいですね。

いつ、どうやって言葉をかけると伝わりやすいのか、ご紹介します。

【心からほめる】

マスクをしていると、表情や声色がわかりにくいですね。こんな時代だからこそ、心をこめましょう。赤ちゃんにも伝わります。



【成長をほめる】

「できるようになるまで何度も頑張ったね。」など、結果ではなくプロセスを認めましょう。自信につながります。

【感謝を伝える】

「助かったよ、ありがとう。」
「嬉しかったよ。」など
感謝を言葉にしましょう。
感謝される喜びが
自己肯定感を育てます。



【みんなの前でほめる】

家族や友人の前で、お子さんの頑張りや良さを伝えましょう。人とのつながりが社会性をはぐくみます。

【具体的にほめる】

「上手にできたね。」
「もう一回見せて。」など
その場ですぐに声をかけると
伝わりやすく
次の動きにつながります。



「褒める」ことは、
「自分は大切にされているんだ。」という自信をつけて
自己肯定感を育むことにつながります。
今の「褒める」を大切にしたいですね。